

34

千代田区景観まちづくり重要物件

山梨中央銀行東京支店

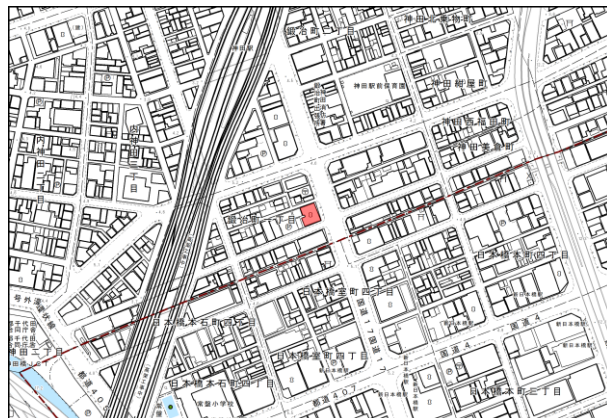
指定日 2003（平成 15）年 6 月 9 日

所在地 鍛冶町一丁目 6 番 10 号

設計者 不詳

竣工 1929（昭和 4）年

文化財等
指定状況



▲山梨中央銀行

歴史・文化的特徴

山梨中央銀行は、1874（明治7）年に開業した「興益社」が前身です。「興益社」は、1877（明治10）年に我が国9番目の国立銀行「第十国立銀行」となり、さらにその後、1897（明治30）年に私立「第十銀行」となった後、1941（昭和16）年に「第十」「有信」の2銀行が合併し「山梨中央銀行」が誕生しました。

現在の山梨中央銀行東京支店は、第十銀行時代からの建物を使用しています。

意匠・構造の特徴

第一層基壇部の上に、古典主義オーダーを模した柱列を並べたファサードを載せており、昭和前半期の支店銀行建築の典型的な意匠です。凝ったディテールはないですが、手堅くまとめたプロポーションと納まりの処理に手腕が感じられ、近代的なスマートさも感じられる秀作となっています。

大理石貼りのカウンターや床のタイルは、ほぼ竣工当時のままとっています。1階営業室の天井は2階分の高さまであります。



▲ファサードの様子



▲玄関部分の設え

周辺景観との関係

JR 神田駅近くの中央通り沿いに立地しています。

地方銀行の東京支店として建築されたもので、神田が日本橋にある日本銀行の地と連続していることを意識させるとともに、信頼と親しみやすさを印象付け、街並に調和しています。